

名大の時間

名寄での新生活

らしや大学生活に戸惑いながらも、友人や周囲の環境に恵まれ、充実した生活を送ることができています。

私は社会福祉について学ぶため、名寄市立大学に入学しました。地元は北海道内にありますが片道約4時間を要し、気軽に帰省できないことに不安がありました。しかし、地域と大学とのつながりが深く、連携教育や少人

数制を特色とする名寄市立大学で学びたいという思いから、入学を決意しました。

名寄市に来て良かったと感じたのは、人の温かさです。大学の先生や先輩は親身に接してくださり、地域の方々も優しく接してくれま

つです。

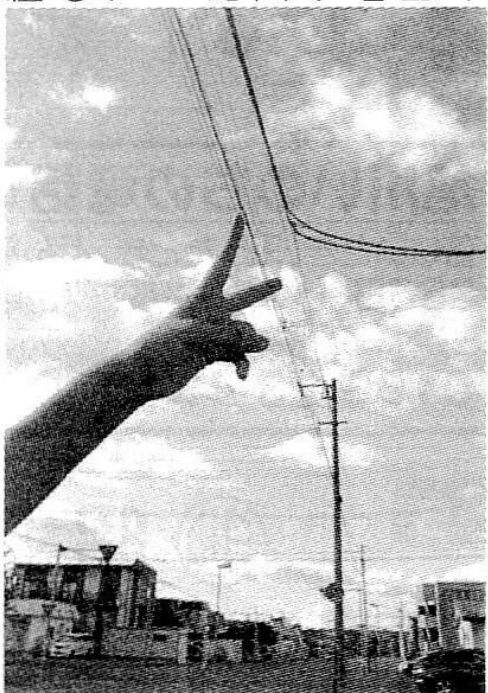
現在私は社会福祉について学びながら、初めてのアルパイトにも挑戦し、忙しくも楽しい大学生活を送っています。

サークルでは、高校時代から続けている軽音楽に加え、創作サークルと手話サークルにも所属しており、保健福祉学部がある大学ならではのサークルの活動にも参加できることをとても嬉しく思ってい

ます。軽音サークルでは1年生同士でバンドを組み、初の大学祭でライブに出演させていただきました。

また、ボランティア活動にも積極的に取り組

みたいと考えています。高校生時代は新型コロナウイルスの影響がまだ残っていたり、部活動や学外活動の兼ね合いがあったりと、ボランティアに参加する機会が限られてしまっていたからです。実際に、大学では先生の



勧めもあり援農有償ボランティアにも参加しました。名寄ならではの経験を通して、地域とのつながりを実感しています。

日々の生活にはまだ慣れないこともありますが、名寄市が少しずつ自分の居場所として馴染んでいくのを実感しています。勉学を怠ることなく、様々なことに挑戦し、名寄市への理解を深め、日々成長していきたいです。

社会福祉学科1年

古家未悠

名寄市に来ておよそ半年が経ちました。初めての一人暮